|  |  |
| --- | --- |
| 活動場所 | ネパール　ポカラ　さくら寮 |
| 学校の概況 |  |
| 活動日 | 5/23～5/25 |
| 指導対象者 | さくら寮生　10期生10名　カニヤキャンパス附属小学生・幼稚園児　200名　教員3名 |
| 指導者 | 古宇田亮順　降旗信子　中島宏 |
| 目　　　標 | パネルシアターによる童話指導方法、遊びの世界を広げる指導方法 |
| 活動　NO. |  |
| 　　　　活動内容　 | 5/23 | 午後　10期生に「大きな大根」の模範授業、製作　古宇田によりパネルシアターの面白さをわかってもらうための作品「大きな大根」等の実演をする。後半は幼稚園の教員に、明日の公演の指導内容について実演と説明をする。 |
| 5/24 | 午前　「大きな大根」製作続行　　型紙を活用し、専用の紙(Pペーパー)で、図を切り取り、色付けをする。動きのあるものは糸止めをする。糸止めは、難しいので、講師が支援する。午後　降旗により、作品「5匹の小猿」「猫のヒゲ」の実演、公演の練習　 |
| 5/25 | 午前　付属小学校で、幼稚園児、小学生200名対象に公演(古宇田)　①開幕の歌、②野原にさいた、③おはようさん、④大きな大根　⑤カレーライス(10期生)　⑥まんまるさん、⑦5匹の小猿(降旗)　⑧ポケットをたたくと　⑨おいでおいでコアラ　⑩私は猫の子　(中島）　糸遊び　4種　　パズル　3種　　ゲーム　5種午後　さくら寮にて、10期生は　「5匹の小猿」の製作　　実演の練習14時から隣の小学校にて　100名対象に公演　(シャボン玉飛ばせ)追加公演  |
| 教材・教具等 | パネル布、ｐペーパー、絵の具、針と糸、毛糸、パネルシアターの型紙、 |
| 成果 | 10期生は、パネルシアターの実践を通じて、卒業後、勤務校の生徒に指導できる自信を持つことができた。小学生、幼稚園児は、大きな関心をよせ、言葉の壁を感じさせなかった。時々ネパール語での掛け声では、一緒になって行動ができた。パネルシアターやゲームは遊びを通じて「学ぶ」教材として大きな成果を収めた。 |
| 今後の課題.取組 | ｐペーパーがネパールで調達できるかが課題であるが、試作品を探すことができたので、今後、それをどのように活用していくか、卒業生各人の熱意と創造力にかかっている。発展的に、身近な生活の中から、物語を創作していき、パネルシアターの効力を追及できる人材まで成長してほしいと願う。 |

**活動報告　　　　　　　　　　　　　　　　　　　報告者　古宇田亮順**

**子**